

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年12月11日 (2014.12.11)

【公開番号】特開2013-132473(P2013-132473A)

【公開日】平成25年7月8日 (2013.7.8)

【年通号数】公開・登録公報2013-036

【出願番号】特願2011-285863(P2011-285863)

【国際特許分類】

A 6 1 M 11/02 (2006.01)

A 6 1 M 11/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 11/02 C

A 6 1 M 11/06

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月23日 (2014.10.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

圧縮空気導入管 9 1 3 に導入される圧縮空気としては、圧力損失を見越した上で、エアロゾルの生成に必要な圧力を十分に備えた圧縮空気が、予め準備される必要がある。したがって、ネブライザキット 1 0 0 0 Z のような従来のネブライザキットにおいては、大きな流量を有する圧縮空気を生成するために、容量（流量）および大きさの大きなコンプレッサ等を用いることが必要であった。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 7 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 7 6】

[ 実施の形態 2 5 ]

図 5 8 および図 5 9 を参照して、本実施の形態について説明する。本実施の形態におけるネブライザキットは、上述の実施の形態 2 2 における粒子選別部 3 0 0 G（図 4 6 等参照）の代わりに粒子選別部 3 0 0 K を備え、流路形成体 4 0 0 G（図 4 6 等参照）の代わりに流路形成体 4 0 0 K を備える。